

マイナビ、「2021年 大学生のアルバイト実態調査」を発表 アルバイト就業者の割合が前年比 8.9pt 減。 コロナ禍でアルバイトをしたくてもできなかった大学生が増加

株式会社マイナビ（本社：東京都千代田区、代表取締役 社長執行役員：中川信行）は、大学1年生から4年生（年齢：18歳～23歳）を対象とした、「2021年 大学生のアルバイト実態調査」の結果を発表しました。本調査は今年で3回目となります。（回答数：1,346名）

【TOPICS】

- ◆ 2021年は前年と比較し、アルバイト就業者割合が 8.9pt 減少。コロナ禍でアルバイトをしたくてもできなかった大学生が増加【図 1、2】
- ◆ 長時間労働者の割合が前年より減少。長期休み中の1日の労働時間で、6時間以上の割合は前年から 9.0pt 減少し、38.4%【図 3】
- ◆ 「学校生活との両立が難しい」から「なんとなく働きたくない」がアルバイトをしていない理由のトップに。コロナ禍でお金を使う機会が減り、働く明確な理由がなくなった大学生が増加【図 4】
- ◆ コロナ禍でアルバイト選びの基準が変化した大学生は3割。感染対策が徹底されている勤務先や、シフトに入れるアルバイトであることを重視【図 5】

【調査概要】

大学生が現在アルバイトをしている割合は 62.9%で、前年と比較して 8.9pt 減少した（2020年：71.8%）。一方、これまで一度も就業経験がない割合は 11.8%と、2.2pt 増加した（2020年：9.6%）。現在働いていない人のうち、アルバイトをしたい人の割合が前年より増加しており、コロナ禍でアルバイトをしたくてもできなかった大学生が増加したと推察される。

現在アルバイトをしている大学生の1日あたりの労働時間について、6時間以上の割合は「長期休み中のアルバイト」では 38.4%、「学期中のアルバイト」では 20.7%であった。いずれも前年と比較して減少しており、人手不足の緩和や時短営業等が影響し、大学生の長時間労働割合が減少したと見られる。

現在アルバイトをしていない大学生に、アルバイトをしていない理由を聞いたところ、「なんとなく働きたくない」が 27.5%と最も高く、「プライベート（習い事・趣味・社会活動）を大事にしたい（22.4%）」「学校生活（学業・部活など）との両立が難しい（17.7%）」が続いた。前年は「学校生活との両立が難しい」が最も高かったが 14.6pt 減少した。

一方、「その他（自由回答）」が前年より 5.5pt 増えたが、そのうち約半数は感染対策やアルバイト先の休業など、新型コロナウイルスの影響によるものという回答であった。

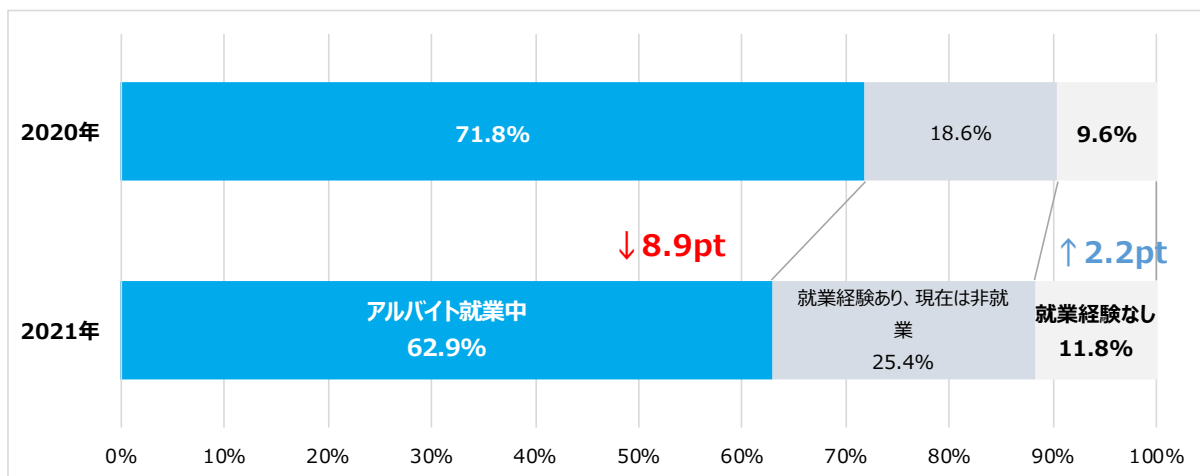
オンライン授業の導入など学校で過ごす時間が減ったため、学校生活を理由にアルバイトをしない大学生は前年より減少し、新型コロナウイルスの影響を受けて非就業者となった大学生や、お金を使う機会が減ったことにより、働く明確な理由がなくなった大学生が増加した様子がうかがえた。

コロナ禍で「アルバイト選びの基準が変わった」と回答したのは 29.3%。具体的に変化した基準としては、「感染対策」に関する項目、人と接する仕事を避けるなど「仕事内容」に関する項目、安定的にシフトに入

Press Release

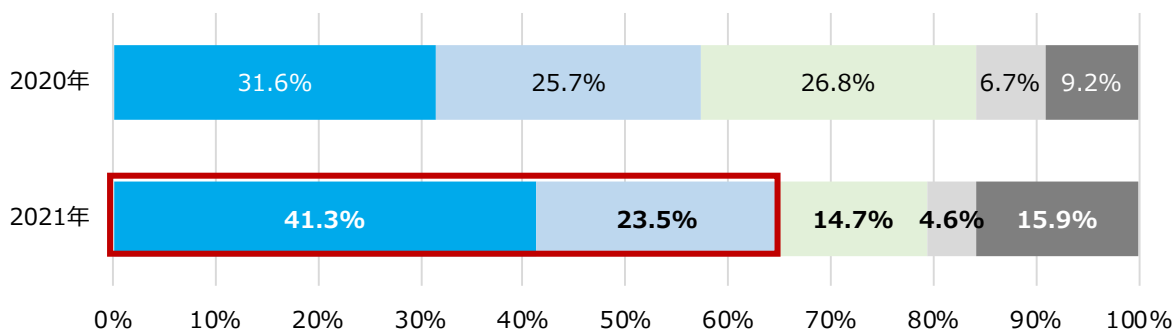
れるかなど「収入」に関する項目、「勤務場所」に関する項目があげられた。

【図1】大学生のアルバイト就業状況

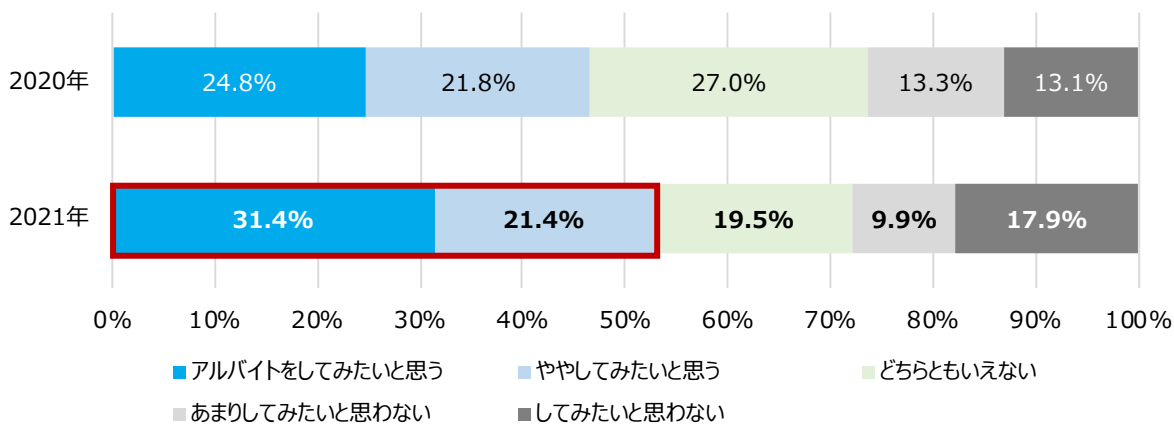


【図2】非就業大学生のアルバイト意向

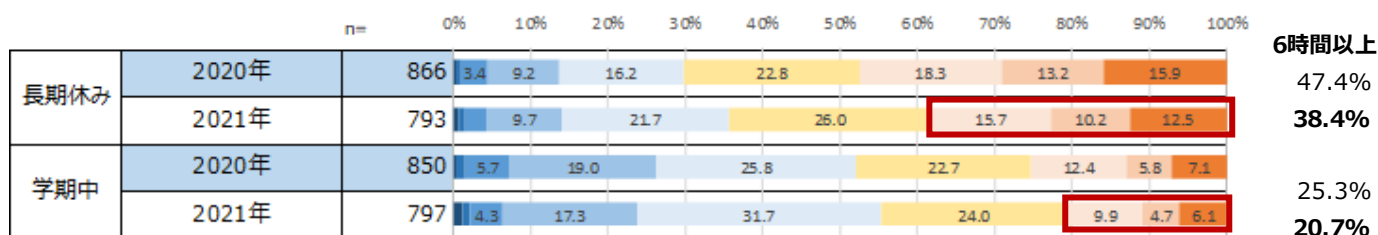
【長期休み中のアルバイト意向】



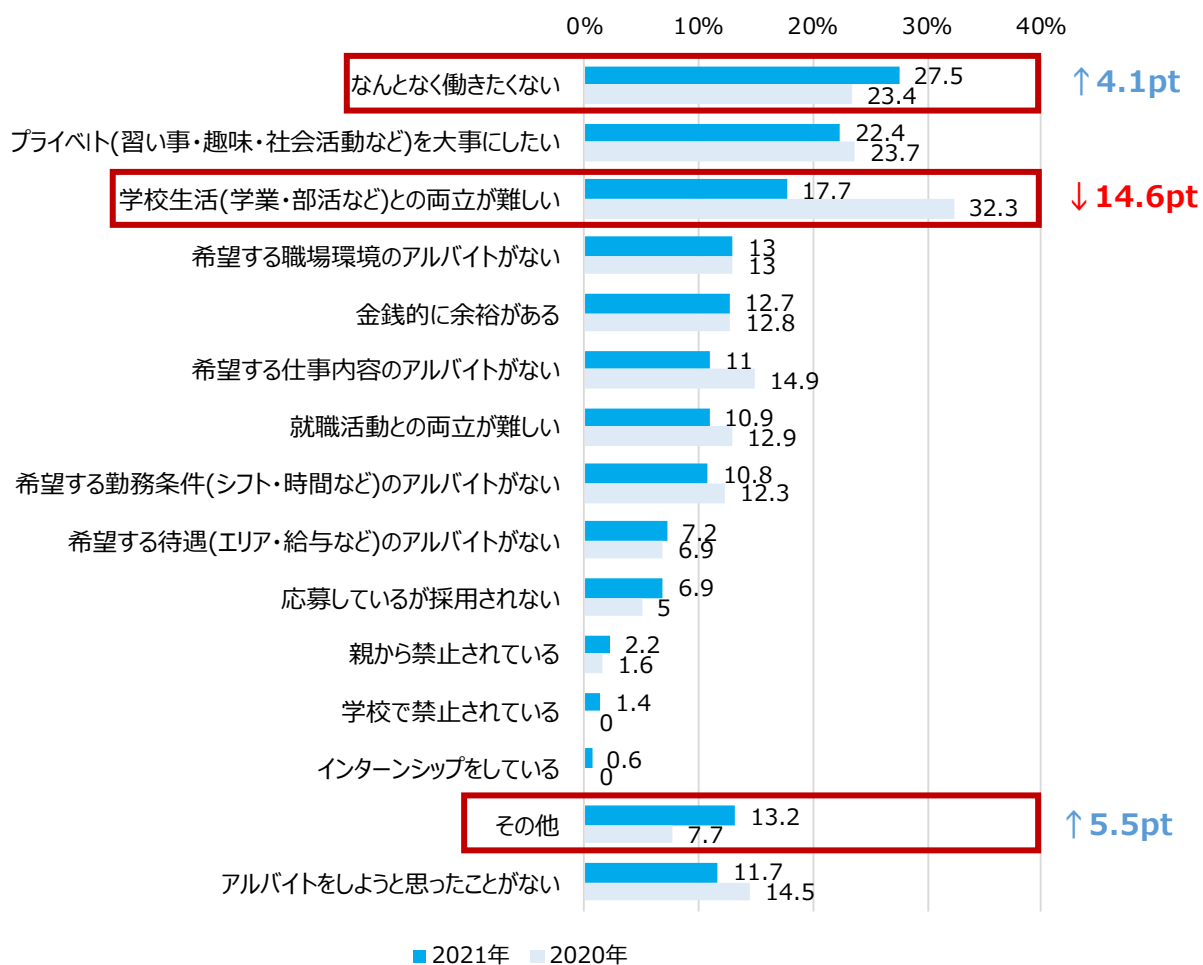
【学期中のアルバイト意向】



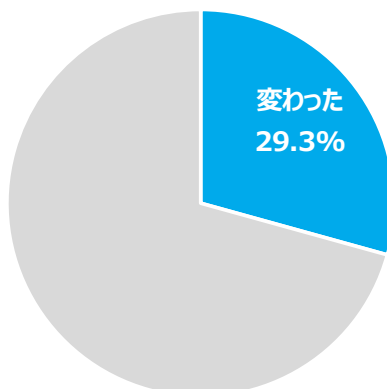
【図3】1日あたりの勤務時間



【図4】アルバイトをしていない理由



【図5】アルバイト選びの基準は変化したか



Press Release

感染対策に関する項目

- ・感染対策をしっかりとっていたり、清潔感のある職場が良いと思うようになった。
- ・感染対策を行なっているか。もし感染した際の対応。

仕事内容に関する項目

- ・お客様と接する時間が長くなる業種は避けるようになった。
- ・不特定多数の人と関わる仕事はなるべく避けるようになった。
- ・選ぶ業種が変わった。

収入に関する項目

- ・コロナで経営が左右されないことを重要視するようになった。
- ・フルタイムで働けるか。休業の際に会社から手当がでるか。
- ・シフト管理をしっかりとっていて、時短などでも満足できる給与を確保できるかなど。

勤務場所に関する項目

- ・コロナへの対応が充実しているか。リモートができる仕事であるか。
- ・都内で学校からのアクセスのいいところで働いていたが、今は家から通いやすい地元でのアルバイトを希望している。

マイナビ「2021年 大学生のアルバイト実態調査」

＜調査地域＞ 全国

＜調査方法＞ インターネット調査

＜対象者＞ 18～23歳の大学1年生～4年生 ※6年制大学、大学院生は除く

＜回答数＞ 1,346 サンプル

＜実施期間＞ 本調査：2021年2月26日（金）～2021年3月2日（火）

※調査結果は、端数四捨五入の関係で合計が100%にならない場合があります。

※調査結果の詳細は会社 HP のニュースリリース (<https://www.mynavi.jp/news/>) からご確認いただけます。